

### 渥美半島道路

# 調査着手や早期実現訴え

## 整備促進協議会などが県へ要望

渥美半島幹線道路等整備促進協議会(会長・山下政良田原市長)と渥美半島道路期成経済連合会(会長・河合利則田原市商工会長)は、豊橋市の県東三河総合庁舎で、渥美半島道路の調査着手、早期実現などを県に要望した。(中村晋也)

山下市長、河合商工会長のほか、森下田嘉治田原市議会議長や森下直樹渥美商工会長、鈴木照彦JA愛知みなみ組合長が5日、同庁舎を訪れ、林全副知事に要望書を手渡した。

観光が盛んなほか、農業産出額は豊橋市を含めた半島地域で約1200億円にのぼり、日本の食料供給基地となっている。その一方で、高速道路までに高規格道路がなく、人流、物流の障壁となり、救急搬送も市内の半

分以上が豊橋市民病院まで平均60分以上かかっている。このため、高速道路までの時間短縮と、国土強靱化を図ることを目的に、渥美半島道路の調査を早期に着手し、早期実現を求めた。浜松市の東名高速道路三

ヶ日ジャンクションを起点、豊橋市の三河港を終点とする「浜松湖西豊橋道路」の早期実現なども要望した。

山下市長は「高速道路から渥美半島先端まで1時間交通圏に向け、渥美半島道路の調査について早期着手をお願いしたい」と、河合商工会長は「要望書を手にする林副知事(左から3人目)と山下市長(同2人目)ら」県東三河総合庁舎で

「浜松湖西豊橋道路を進めるとともに、

渥美半島道路の早期実現に向け、調査をお願いしたい」と訴えた。林副知事は「引き続き渥美半島の道路整備にしっかり取り組んでいく。皆さんの力添えを」と述べた。

